

# 植物考古学

## 珪酸体研究に関する台湾考古学の 現状と新発見

講師：李作婷

(国立自然科学博物館)

略歴：九州大学博士課程修了、博士（比較社会文化）。専門は植物考古学、特に植物珪酸体分析による先史時代の生業や生態の復元研究に関心がある。主要研究業績として「台湾東海岸における4千年前の稲栽培の起源：珪酸体分析の初歩的成果」（2015）等。



日時：2022年11月19日(土) 14:30-15:30

場所：オンライン

※講演はすべて日本語でおこなわれます。

申し込み方法：下記のGoogleフォームに必要事項を記入し送信ください。後ほどオンライン参加情報をお送りします。

参加申し込み：<https://forms.gle/74wEqPGw4Rtom7TPA>

問い合わせ先：俵寛司（東南アジア考古学会）

E-mail：kanjitawtaiwan@gmail.com